

外村理紗さん(ヴァイオリン)

第54回日伊声楽コンクール ミニコンサート

2018年7月16日(月・祝) 14:00
東京文化会館小ホール

1964年、日本のオペラ界を担う人材の発掘、育成を目指して始まった日伊コンクールも今年で54回を数える。イタリア・オペラのアリアと歌曲を課題曲とした極めて専門的で、かつ芸術性の高いコンクール。

本選に残った8名の方々のホールの隅々まで響き渡る熱唱の後のミニコンサートに外村さんが登場。表彰式までの選考の間、ご来場の方々に本選とは違ったヴァイオリンの音色を楽しんでいただくというプログラム。

今年度から財団の奨学生としてお迎えした器楽部門最年少の外村さんはまだ高校生。声楽好きの方々も、そんな外村さんのヴァイオリンの心揺さぶる表現力と、高度な技術に感嘆された様子だった。



◆プログラム

パガニーニ: 24のカプリースより11番

モーツァルト: ヴァイオリンソナタ第22番
イ長調K.305

サン=サーンス: 序奏とロンド・カプリチオーソ Op.28

**第54回
日伊声楽コンクール
2018**

本選／表彰式
2018年7月16日(月・祝)

[本選] 午後2時開演
●東京文化会館小ホール●

主催 日伊音楽協会 / 賛助新賛社
協賛 財団法人文化庁(東京府(関西下関を除く)) / 日伊協会
協賛(協賛) W&O株式会社
協賛(協賛) イタリア文化会館
協賛(協賛) 日本建設株式会社 / 日本音楽株式会社 / 日本建設株式会社 / 東京マウント株式会社
協賛(協賛) ネットヨタ大機株式会社
協賛(協賛) セイコーホールディングス株式会社
協賛(協賛) 日通船株式会社 / 中野不動産株式会社 / 株式会社
協賛(協賛) 日通船株式会社 / オリエンタル船務株式会社
協賛(協賛) 五の徳信株式会社 / ミヨシ造船株式会社
協賛(協賛) 日通船株式会社

第54回日伊声楽コンクール 本選出場者 演奏曲目

氏名	演奏曲目
上野 優子 (Ueno Yuki)	パガニーニ: 24のカプリースより11番
藤田 悠 (Fujiwara Yū)	モーツァルト: ヴァイオリンソナタ第22番 イ長調K.305
山崎 悠 (Yamazaki Yū)	サン=サーンス: 序奏とロンド・カプリチオーソ Op.28
内 聖太 (Uchi Seita)	パガニーニ: 24のカプリースより11番

本選終了後、表彰式までのお時間は、フレッシュなヴァイオリンの演奏

ミニコンサート
演奏: 外村理紗 (Murauchi Risa) / 二重奏: 山崎悠 (Yamazaki Yū)

外村理紗 (Murauchi Risa) さんについて
1964年生まれ。東京都立音楽高等学校卒業。2018年、第54回日伊声楽コンクール本選に出場し、パガニーニの24のカプリースより11番、モーツァルトのヴァイオリンソナタ第22番、サン=サーンスの序奏とロンド・カプリチオーソを演奏し、本選に残った8名の方々の一人に選ばれた。今年度は、奨学生として本選に出場した。今年度は、奨学生として本選に出場した。今年度は、奨学生として本選に出場した。

Q&A

本選まで勝ち進んだ8人の方々の堂々たる熱唱の後に登場した外村さんを見て、声楽好きのお客様は、その若さと華奢な姿に少し驚かれた様子。でもその後の外村さんの演奏を聴いて、その心を動かす表現力と素晴らしいテクニクに再度驚き、感嘆した様子だった。

まだ高校生の外村さんがどのようにしてここまでの演奏家になったのか、何が今の外村さんを育てたのか、外村さんの回答を読んでいると、少しわかった気がした。

Q1. 外村さんがヴァイオリンを始めたのは3歳の頃とのことですが、これまで続けて来られたモチベーションは何でしょうか。数々のコンクールで素晴らしい結果を残せた原動力は何だと思われませんか。

A1. 大好きなヴァイオリニストの演奏を聴いたりして、この曲もやってみたい、あの曲もやってみたくてやりたい曲がどんどん増えて行くことや、尊敬するヴァイオリニストの演奏を聴いて私もこんな風になりたいと思うことが、今も続けられているモチベーションになっているのかなと思います。

また、コンクールやコンサートなどに関わらず、弾き終わったあとにお客様から拍手やブラボーを頂いたり、喜んで頂いたりした時が、この上なく嬉しく、私にとっての1番の原動力になっていると思います。



写真ご提供：（公財）日伊音楽協会



写真ご提供：（公財）日伊音楽協会

Q2. 今回の演奏の前、どんな演奏をしたいと思って臨まれましたか。聴き手に何を感じてほしいと思って演奏されましたか。

A2. とにかくお客様に楽しんでいただけるようにということだけを考えて演奏しました。また、聴いてくださる方にヴァイオリンの面白さや魅力を最大限に感じて頂けるようにと思って演奏しました。

Q3. 今回の演奏を通じて何か得られたものはありましたか。

A3. それぞれの本番がその時のホールやお客様の空気、自分のコンディションによって変わります。ですから、一つ一つの本番が貴重な経験になっています。

今回、素晴らしいホールで弾かせて頂き、お客様に喜んでいただくことが出来たので、ヴァイオリンを弾いて聴いていただけるといふ喜びを再認識することができました。

Q4. 外村さんが特に好きな作曲家は誰ですか。その理由は何でしょうか。

A4. 好きな作曲家はたくさんいて選び難いのですが、選ぶとしたらプロコフィエフ、イザイ、チャイコフスキーです。プロコフィエフはある時は温かくある時は可愛らしく、かと思ったらグロテスクな曲を書く多面性がある部分にとっても惹かれます。

イザイは和音が私にとってしっくりくる使い方で、弾いていて共感できる部分が多く、とても魅力的です。

チャイコフスキーはクライマックスへの持っていく方が天才的だと思いますし、温かく心に寄り添うメロディーが大好きです。

Q5. 数ある楽器の中で、外村さんにとってヴァイオリンの魅力は何でしょうか。音楽の魅力は何でしょうか。

A5. 私はヴァイオリンと同じようにピアノやチェロ、ヴィオラもそれぞれの魅力があり、大好きです。しかし、ヴァイオリンは特に音色が好きで、透き通った音色から暖かい音色、どっしりとした音色まで、表現できる幅が広い楽器だと思っていて、そこが1番の魅力だなと思います。

私にとっての音楽の魅力は、人々の気持ちに寄り添う力がある所だと思います。悲しい気持ちの時には心の傷を癒してくれたり、嬉しい気持ちの時は暖かい気持ちにさせたりするような所です。



写真ご提供：（公財）日伊音楽協会

Q6. 外村さんはどんなヴァイオリニストになりたいとお考えですか。そのためには今、何をすべきだと思われませんか。

A6. 誰かの演奏を聴いて感動して頑張る気力湧いてきたり勇気が出たり、辛い時に演奏を聴いて心の傷が癒えたり、音楽に助けられることが何度もありました。

自分がそうしてもらったように、次は自分がお客様に喜んで頂けるような演奏ができるヴァイオリニストになりたいと思っています。

そのためには、喜んで頂ける演奏というのはどのようなものなのか、色々なコンサートに行ったり様々な音楽家の演奏を聴いたりして研究を重ねていく必要があると思います。



Q7.まだ17歳の外村さんですが、一番幸せだなあと思う時はどんな時ですか。自分を一番元気づけてくれるモノ(人、食べ物等)は何ですか。

A7. やはり、音楽に限らず目標に向かって頑張っているお友達と話したり発表の場に行ったりすると、とても楽しく幸せで自分も頑張ろうと勇気を貰えます。

また、最近は大冒険にはまっています。レッスンの後に自分へのご褒美として飲むのが1番の至福の時です(笑)



この曲を弾いてみたい、あんなふうに弾いてみたい。聴いてくださる方にヴァイオリンの面白さや魅力を感じてほしい。喜んでもらえて嬉しい。音楽に助けてもらったように他の人を助けたい。外村さんの回答を読んでいると、素直な方だなと感じた。素直さは、上達するために必要な、大事な素質の一つではないか、と常々感じている。そして好奇心が旺盛で、優しく、温かい。

でも素直さ、優しさ、温かさだけではなく、きっと強い、ぶれない芯が奥にあるのだと思う。そうでなければ大舞台であそこまでの演奏を披露できないだろう。これからも素直さを失わず、いろんな曲、楽器、全てに対する好奇心を失わなければ、そして芯の強さがあれば、多くのものを吸収でき、大きく成長し、世界が広がって行くはず。このまま、真っ直ぐヴァイオリン、音楽を楽しんでほしい。そうすればこれまでと同じように結果がついてくるはず。

直接お会いしてお話すると、つい応援したくなってしまう、そんな魅力を持った外村さん、応援しています♪

♪ 第54回日伊声楽コンクール ♪



2018年7月16日(月・祝)、東京文化会館小ホールで、第54回日伊声楽コンクール本選と表彰式が行われました。

本選は午後2時から、2次予選を通過した8名が、一人約15分間の持ち時間による演奏会形式で、イタリア・オペラのアリア2曲とイタリア歌曲の計3曲をそれぞれ歌いました。

写真ご提供：(公財)日伊音楽協会



1位入賞:土屋優子さん(ソプラノ)



2位入賞:竹下みず穂さん(ソプラノ)



3位入賞:砂田愛梨さん(ソプラノ)